

旭川医科大学整形外科
医局だより
業績集 2021.1～12



「巻頭言」

業績集の発刊によせて

旭川医科大学は国立の新設医科大学の第一号として1973年11月に開学し、以来48年の間、「地域医療に根ざした医療、福祉の向上」を建学の理念に掲げ、日本最北端の医科大学として、広大な北海道における医学研究の拠点として、卒業生を、地域医療の最前線や研究施設へと送り出してきました。本学は道内の医師不足・医師の偏在の解消に貢献すべく、本学の入試に「地域枠」をいち早く導入し、道内在住者に大きく門戸を広げました。2020年2月には、日本医学教育評価機構（JACME）による、医学教育分野別評価において、本学の医学教育が国際的な基準に適合していることが認定されております。大学病院は臨床だけでなく、研究、教育の3つの柱を満たすべく努力する義務があり、これまでの研究を更に発展させ、新しい医療技術の開発に貢献していく必要があります。当教室にとっても、基礎および臨床研究は大きな任務であります。研究発表を行い、多くの方々からご批判を受け、それを医学の発展のため後世に残し、後進のための良い指針となることは極めて大切です。

当教室においても多くの学会や研究会での発表や論文があることが、この業績集から分かりますが、国立大学の1つとしてその数が十分かという点依然として少ない方であるのが現状です。当教室には各班とも数多くの誇れる基礎および臨床研究がありますので、ぜひ発表数を増加させていきたいと思えます。学会や研究会での発表も大事ではありますが、その研究結果を最終的に英論文に残すことは、結果を世界に向けてアピールしていくことにつながります。私は学会や研究会で発表した演題は全て英論文として投稿することが仕事の完結と考えております。特に大学医局の先生方は、自分の仕事をインパクトファクターの付いた国際雑誌に筆頭著者として投稿することが責務の一つです。また、たとえ人員不足であろうとも留学希望は歓迎です。コロナウイルス感染症(COVID-19)が大きな問題ですが、状況が許すようになれば、ぜひ外国で研究を行い整形外科の発展に寄与していただきたいと思います。

この業績集の発刊にあたり関係各位の努力に心からお礼を申し上げます。

2022年3月
伊藤 浩

目次

巻頭言	伊藤浩	教授	p1
医局長挨拶	三好直樹	医局長	p3
医局便り			
新入局員紹介			p4-6
教室便り			p7-12
関連病院便り			p13-17
寄稿文			
・ 北海道の現場の経験から、東京2020オリンピックへ ～バレーボール女子日本代表チーム～ 小原和宏先生			p19-20
・ 東京パラ五輪参加報告 阿部里見先生			p21-22
・ コロナ禍での海外留学 松倉圭佑先生			p23-24
結婚・出産報告			p25-26
業績集			
教室研究業績			p28-34
関連病院業績			p35
同門業績			p36-41
編集後記			p42

医局長挨拶

2021年4月に前任の阿部里見先生から医局長を引き継ぎ、副医局長の妹尾一誠先生と協力して伊藤浩教授のご指示を仰ぎながら医局運営を行っています。

まず2022年度の医局人事を年内の12月に決定して報告をすることができました。こちらの要望にすぐに対応していただいた各関連施設のトップならびに医局員の先生のご理解・ご協力のおかげだと思いますので、この場をお借りして感謝申し上げます。今年度私も初めて人事案を作成しましたが、全員のご希望に沿うことの難しさがよくわかりました。長年続いている人員不足はすぐには改善しませんので、今後ともご希望に沿えないこともあると思いますが、可能な限りトップの先生とは直接お会いしてお互いの意見を確認しながら医局全体のバランスを見て、来年もできる限り早くに人事案を作成できるようにしたいと思いますので今後ともご協力をお願いできますと幸いです。ただ長年の人員不足の問題に加え、現在の人事決定を難しくしている要因に新専門医制度があります。昨年の同門会総会でもお話をさせていただきましたが、専門医取得前の卒後3～6年目の専攻医の期間に、以前と同様の手術件数や論文・発表などの専門医受験資格に加え、10項目の研修分野（1ヶ月で1単位、計45単位必要）を取得することが必要になりました。研修分野は、各指導医の先生が3つの分野を申請することができ、その指導医の下で研修をうけた専攻医はその3つの分野を1年間で計12単位取得することになります。そのため同一施設に複数年いると取得分野に偏りが生じてしまうため、専攻医の先生は、今後基本的には一年ごとの異動をお願いさせていただくことになると考えています。また関連施設に指導医が増えるほど専攻医の取得分野を増やせるため、できるだけ早く専攻医の先生には専門医を取得して指導医を目指してもらいたいと考えていますのでご理解をいただけますと幸いです。

そのほか医局関連のご報告としては、①2020年夏にユタ大学に留学予定だった松倉圭佑先生は、コロナ禍でアメリカの留学生の受け入れがストップしてしまっていたが、ワクチン接種が進んだことにより留学生の受け入れが再開された2021年5月に約1年遅れでユタでの留學生活を始めることができました。②森山病院に長く勤務されていた岡本巡先生が、森山病院を退職された後に大学関連施設での就職を希望されました。岡本先生と相談をしてご本人の希望を優先し2022年4月から深川市立病院で勤務をしていただくことになりました。一人常勤医となりますが、岡本先生は手術も積極的にしていただくとのことで、手術日などには大学から出張医を派遣してお手伝いをする予定で考えています。③北見赤十字病院で研修を行っている卒後2年目の中島大輔先生が、北見での研修中に整形外科に興味を持ち先日正式に入局を表明してくれました。すでに人事も決定しており、中島先生も引き続き北見での後期研修を希望されているため、来年度はそのまま北見赤十字病院で勤務をしていただく予定にしています。

また2021年度は、若手の先生の積極的な学生への声掛けに加え、2020年度はオンラインだった医局説明会を学生と対面で行うこともでき、さらに見田貴弘先生（卒後3年目）が、合同入局説明会でベストプレゼン賞を獲得した非常に完成度の高い当講座の紹介ビデオを作成してくれて、北見の中島先生に加え研修医2年目の猪川先生、6年生の谷村君・川尻君の計4人が入局してくれて、医局長1年目をとてもいい形でスタートすることができました。（見田先生のビデオは、整形外科医が一人で作ったとは思えない完成度で、来年以降ビデオを作成することになる若手の先生へのプレッシャーになり得る作品であり、同門の先生は、整形外科同門会ホームページで見ることができますので是非一度ご覧ください）

最後に、今この文章を書いている時期は、オミクロン株が日本中を席卷し始め過去最多の感染者数を更新している日々です。この文章が同門の先生の目にとまる頃には、どのような状況になっているか全く想像がつかませんが、コロナ禍の影響がなくなる日が一日でも早く来ることを期待し、昨年は初めてWEBで行った同門会総会も来年度は同門の皆さまと対面で行えることを切に願っています。教室員一丸となってさらに盛り上げていけるように努めて行きますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いします。

医局長 三好直樹

「医局便り」

新入局員 紹介



二年次研修医

霍田直樹

(TSURUTA Naoki)

生まれ 1992年10月5日
出身地 旭川市
出身高校 旭川東高等学校
出身大学 旭川医科大学
部活 バレー、ダンス
好きな食べ物 ラーメン
研修病院 札幌徳洲会病院
→旭川医科大学病院
趣味 コロナ前は運動、旅行でした
整形的な興味 スポーツ関連



猪川智博

(IKAWA Tomohiro)

生まれ 1994年8月21日
父親 猪川 輪哉
(いつもお世話になっております。)
育ち 旭川
出身高校 旭川東高等学校
出身大学 旭川医科大学
部活 サッカー (小中高大)
趣味 睡眠、ゲーム、犬、ねこ、温泉
サウナ、旅行、お酒、コーヒー



中島大輔

(NAKAJIMA Daisuke)

生まれ 1994年11月17日
出身 千葉県
出身高校 市川高校
出身大学 旭川医科大学
部活 バスケットボール
研修病院 北見赤十字病院
趣味 温泉
美味しいものを食べる事



一年次研修医・医学科 6 年生

一年次研修医

北村勇斗 先生

旭川日赤にて初期研修中

野球部

旭川医大医学部医学科 6 年生

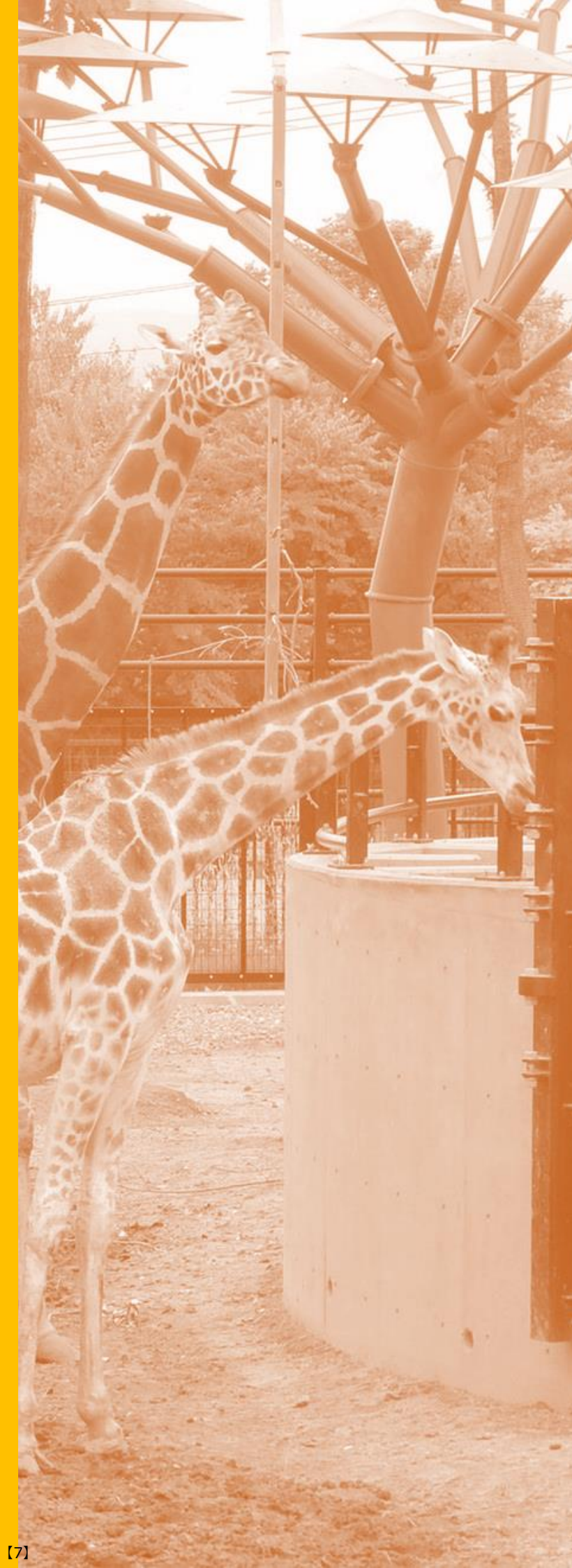
川尻誠 くん バレー部(写真)

谷村謙成くん ラグビー部



「医局便り」

教室便り



2021年の股関節班は伊藤教授、谷野、光武助教とローテーションで来てくれた市原先生、見田先生、霍田先生、猪川先生、宮原先生の概ね4人でした。ローテーションで来てくれた諸先生は股関節班の忙しい日常の中で非常に良く働いてくれました。

2021年は皆様同様コロナに大きな影響を受けた1年でした。吉田病院と旭川厚生病院の閉鎖により年始は多くの外傷が搬送されました。原稿を書いている現在もコロナによる病棟ベッド2割使用休止（3割目標）指示が出ており、多くの病院でクラスターが発生しており同門諸先生も大変ご苦労されているかと思います。

多くの学会がウェブ開催を余儀なくされていますが2023年9月22～23日に伊藤教授が東日本整形災害外科学会（旭川）を主催することもありコロナが落ち着いていた秋頃の東日本整形災害外科学会（盛岡）、そして日本股関節学会（奈良）には宮原先生、西能先生と共に現地開催学会に参加することができました。

臨床では人工股関節全置換術において「正確なインプラント設置」を目指しここ数年注目されているポータブルナビゲーションを使用してカップ設置および脚長調整を行ってきました。またステム側では我々の開発した角度計を基にしたステム挿入器を用いステム前捻を調整しています。初回人工股関節全置換術の手術数はコロナの影響を受けていますが道内3大学では一番多く、道内では5番目となっています。ポータブルナビゲーションに関し2編報告（Tanino H et al, BMC Musculoskelet Disord 2021; Tanino H, Clin Orthop Relat Res(CORR Insights) 2021）しました。現在は臨床導入されたばかりのARナビゲーションの前向きランダムイズ研究を行っています。

研究ではTHA後のROM・脱臼に関するシミュレーションについて1編報告（Mitsutake R et al, Hip Int）がアクセプトされました。その他THAに関わるデバイスの開発をフロリダ大学・兵庫県立大学と行っています。そして光武先生がステム挿入器の論文（Mitsutake R et al, BMC Musculoskelet Disord 2020）で学位を取得されました。現代のTHAの再置換の理由はlooseningと脱臼が2大要因（ほぼ同率）とされており正確なインプラント設置はより重要になると思われます。そしてRobotic surgeryが昨今注目されていますが、我々も様々な取り組みの中で今後更なる股関節手術・人工股関節手術成績の向上に取り組んでいきたいと考えています。2022年途中からは高木先生が股関節班に加わる予定であり活躍が期待されます。

大学では診療の大きな部分は同門の諸先生からの紹介により成り立っており今後ともご指導を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。

股関節班 谷野弘昌

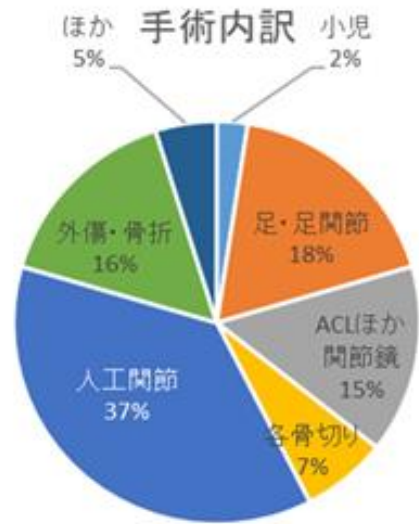


<下肢班報告>

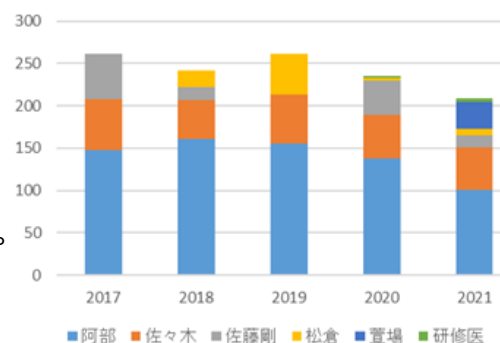
下肢班は、4月から萱場（かやば）幸太郎先生を加えた3人体制です。今年もTKAセミナー、ブタ膝関節鏡セミナーなど行いました。手術件数は減少しましたがTKAは約100膝と例年どおりでした。Webやe-Posterを含め国内学会発表25、国際学会4、日本語論文6、英論文1、著書3と少なめでした。Web学会は、現地にでむく時間を準備に当てられるメリットと、討論が不十分であるデメリットを感じました。今年、軟骨の基礎研究や、人工関節/ACL/骨切り術前後の動態解析の研究が進まず、臨床研究が主でした。

膝関節は、半月板の逸脱や後角損傷、脛骨内反がOAのリスクであると広く認知され、関節温存手術（骨切り+半月修復）に関心が高まり、当院でも骨切り術の前後にMRIの3D解析を用いて研究を行っています。ACLは昔のsingle再建をした患者様のACL再々建術+αが増加しています。ACL再建後の長期経過をみて学ぶ事は多く、生物学的治癒の促進、再断裂や機能不全を起こさない再建術等を検討しています。TKAは簡易ナビゲーション+ギャップバランスコントロールで研究を継続しています。足関節は、OAや外反扁平足に対する骨切り手術も増加しています。

阿部里見



手術件数



<雑感>

旭川日赤、北見日赤、名寄市立と関連病院をローテーションし、5年ぶりに大学下肢班(救急科兼任)へ戻ってきました。幸か不幸かコロナ禍の煽りで宴席は遠のき、ダラける自分を戒めながら（それでも自堕落と囁かれそうですが）日々を送っています。

兼任している救急科でのERやICUでの不慣れな業務も重なり、あっという間に時間に流される日々です。救急科の着任初夜勤でいきなり重症COVID-19肺炎患者を引き当ててしまい、full PPE対応もままならない中、ICU入室、人工呼吸器導入、CV挿入など死に物狂いで対応に当たったことが今でも思い出されます。三次救急機関なのでヒヤヒヤすることも時とありますが、救急科専任の先生方から厚いback upもあり、幸いなんとか大事には至らず現在まで業務を続けられています。

整形外科では爪痕を残せるよう、阿部先生の熱烈な指導のもと学会発表や論文執筆など、ローテーション中あまり取り組まなかった学術活動も行なっています。整形外科の楽しさと、その奥行き広がりにも恐れ多く日々です。あらためて諸先輩方の凄み、ありがたみを痛感しています。後輩たちも順当に成長を重ね（私を踏みつけて）飛躍している様子を見つつ、私は私で、亀の歩みだとしても、一步一步、前に、上に、進んでいけるようまた明日からの業務に取り組んでいきます。

萱場幸太郎

2021TKAワークショップ



上肢班 入江徹

【上肢班活動報告：2021年1月～12月】

2021年は入江、三好と7年目の奥原の3人を中心に、2～3月が西能渉一、4～6月が見田貴弘、9月～11月に宮原樹里、12月に2年目研修医の猪川智博が、上肢班での専門研修を行いました。また初期研修として、5月に2年目の高田優/佐藤翼先生、8月に1年目の近藤咲季先生が整形外科上肢班を選択し研修しました。今後も初期研修医を積極的に受け入れて、整形外科の魅力を発信できるように努めてゆきます。

2021年1月～12月の手術件数は170件で、2020年200件、2019年209件と比較するとコロナ禍の影響が数字で表れていました。（整形外科全体でも、2021年1月～12月915件、2020年1005件、2019年1078件となっています。）内訳は肩関節外科41件（うちリバース型人工関節が10件と年々比率が増加中）、肘関節外科19件、手関節/手外科81件、骨折や外傷29件（同じく例年に比して外傷が減少）でした。大学での手術以外にも、地域の患者さんの要望に応じた出張手術という形で関連施設の先生方に多くのご協力をいただいております、この場を借りましてお礼申し上げます。また、2020年4月より大学のすぐ隣で開業した奥山整形外科でも、大学病院で対応しきれない手外科手術やリハビリを担ってくれており、2021年の手術件数は55件でした。

学術業績は、肩関節外科／肘関節外科を中心に国内の講演3、国内著書1、国内論文2、国内学会の発表5となっております（下表）。ひきつづき、日々の業務と併行して臨床研究を継続してゆくように努めます。

ひきつづき、大学上肢班の体制は入江、三好に若手を加えた3人体制で運営し、2022年4月からは6年目の高橋裕貴が研修を行う予定となっています。今後も若手の先生達が、大学で上肢の診療の経験を積んでから関連病院で力を発揮したり後輩に伝えたりすることによって、上肢の診療の普及につながることを期待しております。同門の先生方にも、上肢班の体制にご理解とご協力をいただけるようお願い申し上げます。

活動内容	月	会/雑誌 名称	題名	氏名
講演	3	三木会学術講演会	肩関節疾患の治療指針～五十肩・腱板断裂から変形性関節症まで～	三好直樹
	8	肩関節手術研究会	筋腱移行術を併用したリバース型人工肩関節置換術	三好直樹
	9	東日本整形災害外科学会	当科における腱板広範囲断裂に対する治療戦略	三好直樹
著書	10	Monthly Book Orthopaedics	一次修復不能腱板広範囲断裂に対する治療戦略 –筋腱移行から人工骨頭・関節置換–	三好直樹
邦文論文	4	肩関節	非結核性抗酸菌による肩関節炎の1例	入江 徹
	4	北海道整形災害外科学会雑誌	北海道における手外科/肘関節外科治療の現状と課題 スポーツ障害/外傷の治療(肘関節)	入江 徹
国内発表	5	日本整形外科学会	70歳以下のCuff tear arthropathyに対する小径人工骨頭置換術と腱板再建術の長期成績	三好直樹
	6	北海道整形災害外科学会	当科における上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する手術治療の短中期成績	奥原一貴
	7	JOSKAS/JOSSM	当科における上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する手術治療の短中期成績	奥原一貴
	10	日本肩関節学会	上腕二頭筋長頭腱移行術を併用した小径人工骨頭置換術と腱板再建術	三好直樹
	10	日本肩関節学会	当科における腱板断裂術後10年以上の長期成績	奥原一貴

Slump Spine …… 2022年雑感 ……

令和の大学脊椎グループは、執刀医4名で年間200件超の手術を熟す安定期を享受していましたが、近年外来・手術・研究に尽力してきた清水睦也先生（発表国内19/国際6回；論文英5/邦2編+a）、神保静夫先生（発表国内29/国際3回；論文英5/邦3編+a）が大学を離れ、脊椎外科的に云うと2椎体TES並のダメージを感じていました。両先生が沢山診ていた引継ぎ患者の急増期には、外来予約だけで50名超という異常事態が続きましたが、コロナ受診制限や働き方改革などもあり、朝8時半に診察椅子に着いてから夕方まで飲食抜きの「断食外来」状態は改善されつつあります。

2022年度には、水谷幸三郎先生が大学に戻り、岡安浩宜先生が大学から九州脊損センターに留学となるため、大学3名+国内留学1名という布陣で、臨床と研究が回せる最低人員によるエコ運営が当面続きそうです。幸い、医局長時代に「大都市優位が明らかな制度で、旭川医大は大丈夫か」と揶揄されながら作成に携わった新専門医研修開始後も、新入医局員をコンスタントに迎えられていることが、明るい萌芽です。

……“Slump Spine”とは、そんな大学脊椎グループの窮状、のことではなく、骨盤後傾から頸椎のストレートネックまで含めた脊柱変形の呼称で、長時間座位でのスマホ操作等が増えた現代病として一般雑誌で取り上げられることも多くなりました。“Slump Spine”への対処法としてYTW体操などが言われていますが（Men's Health UK 2022年1月号）、地道なデータ収集でお馴染みの高齢者脊椎検診によると、大腿四頭筋力が体重の50%以上、背筋力が体重の90%以上ある方は、“Slump Spine”にならないという結果でした（岡安ら2022年日整会）。時節柄、コロナ禍で中断している地道なデータ収集や国際学会発表等の早期再開を祈りながら、脊椎グループの研究自体がスランプにならないよう、メンバー協力して研鑽する所存ですので、今後もし指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

<腫瘍班便り>

2021年も例年通り丹代・柴田の2人体制で診療を行っていました。たくさんの方の症例をご紹介いただき、誠にありがとうございます。北海道という広大な土地がら、すべての治療や経過観察を旭川で行うことが難しい場合も多く、地元でのご協力を様々な形でいただいております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて2021年台帳から1年間の活動状況についてご報告させていただきます。台帳記載は288名で、内訳は下記のようになっております。

★軟部腫瘍 良性 99例 中間悪性10例 悪性12例 計121例
(手術 良性30例、中間悪性3例、悪性9例)

★骨腫瘍 良性 18例 中間悪性4例 悪性3例 計25例
(手術 良性4例、中間悪性1例、悪性1例)

★転移性骨腫瘍（血液腫瘍含む） 73例（手術3例）

高悪性度軟部肉腫が比較的多く、化学療法も切れ目無く行われている状況です。ここ10年軟部肉腫への2nd lineとして使用可能な薬剤が増えてきたこともあり、通院での外来化学療法も多数行われるようになってきました。毒性もさほど強くないこともあり、今後地元での治療をお願いすることがあるかもしれません。その際はご協力いただけると幸いです。

私事ですが、1999年から大学勤務を続けてきましたが後進の育成の目処も立ち、あと1年くらいで大学勤務から退くことを検討しております。疾患として希な病気であるため、道北県内での治療は大学に集中することになり、多くの人材が常駐することは難しいのですが、今後腫瘍の治療に興味を持ってもらえる若手の先生が出てくることを期待いたします。



「医局便り」

関連病院便り

<手術にみる最近の旭川赤十字病院>

500床規模の全28科（精神科休止）の救急病院です。当科は年間800例ほどの手術、うち臨時手術が約300例で大腿骨近位部骨折（約270例）、開放骨折（約30例）が大部分を占めます。臨時手術は必要があれば受けてもらえるのが当病院の売りでしたが、最近の働き方改革によって、日中の手術件数の制限が強くなり（日勤帯で終わるように）、臨時手術も頸部骨折に関しては、以前はほぼ全例受けてもらったのが、他科の臨時手術があれば、翌日に回ったり、効率性が悪くなっています。ですが、当院は外傷を中心に手術症例が多く、若手の先生に多くの手術を経験してもらえる点は変わっていません。ただ、救急病院で、総合病院であることから、併存症を含めリスクの高い患者が集まるため、困る症例も少なくありません。そこも含めて学んでいける病院ですが。写真は2021年の当科Dr達です。



旭川赤十字病院

高橋滋

年が改まり厳寒の中にも清々しさが感じられる日々ですが、同門の皆様は健やかにお過ごしのことと存じます。21期の白岩です。医局便りに投稿する機会を頂き、病院全体から当科、そして個人として最近の変化について綴らせて頂きます。

さて、2020年からのCOVID-19による影響が社会全体に深く浸透する中で本院としては宗谷の医療を持続可能とする目的で多方面に取り組んできました。2020年3月から4床のみだった感染病床を段階的に増床し現在17床で専門病床化し運営しています。スタッフは内科医師のローテーション及び約20名の選抜看護師で充足しています。軽症から中等症の患者を受け入れ、重症化した場合は旭川の高次医療機関に搬送しています。院内感染予防対策としては手術棟、入院棟に入室する全ての患者さんに抗原検査を義務付け、外出する場合は自費で再検査を受けてもらい、勿論面会も危篤時以外は常時禁止としています。また当該入院患者のカルテ閲覧ログを毎日チェックする事で情報漏洩防止に努めています。今後は自宅療養が中心になると思われますが、訪問診療で治療可能な薬剤の充足や更なる管内病診連携が必須と考えています。

当科のtopicとしては本年4月から循環器常勤医師が赴任する予定でACSの急性期対応が可能になった事により、TKA,THAの再開が視野に入ってきました。今後も大学と協力しながら発展させていく所存です。また嬉しいことに稚内はパワースポットなのかこれまで沢山の幸せな報告を聞いてきました。今年度は笹井先生のご結婚、宮澤先生のご結婚、奥様のご懐妊と幸せ続きでした。おめでとうございます。私個人としては昨年念願だった黒鮪を釣り上げる事が出来ました。今年は50kg以上を目標にし、魚に負けない身体作りを行っていきたいと思っています。

末筆ですが同門の皆様の益々のご活躍を願いつつ引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



豊岡中央病院

猪川 龍哉

豊岡中央病院 病院便り担当 後藤院長の代理（下請け）猪川です。

早速ですが字数制限もあり、ご挨拶抜きで当院のご紹介をさせていただきます。豊岡中央病院は現在7人の常勤整形外科医と、1人の非常勤という同門の中でも屈指の大所帯です。当院の特徴を一言で述べさせて頂きますと、「派手さはないが」「股関節ー膝関節ー脊椎」の各グループは、他大学からも一目置かれる医療レベルを誇っている。しかし「アピール下手な集団のため、医局内での認知度は低い」というところでしょうか。（あ、一言じゃなくて三言でした。）当院の守備範囲（特徴）は、サッカー日本代表で言うところの遠藤航選手という感じです。救急-外傷のような花形分野ではなく、普通の症例から他院のトラブルケース、難症例を人知れず問題とならないように治している。難しいところを、難しく見せずにさりと治す。「判る人だけ判る玄人好みの医療」と（勝手に）思っています。所属の各医師が地道に努力した結果、手術見学の先生が全道は元より全国から来て頂けるようにまできました。（他大学の先生が見学に来るのに、同門から来ないのは我々のアピール下手が原因と反省する次第です。）

ここからは各グループの紹介です。私の所属する脊椎Gは、猪川、恒川、廣野の「メス屋さん3人衆」に、熱田、小澤のお師匠様2人が後ろに控えている陣容です。治療方針は「手術は最終手段」「手術適応を厳選」「患者さんは長期にフォロー」というスタンスです。患者数も全道有数のため症例は豊富で、全国の名だたる先生が頭を抱えるような難症例も多く集まります。最近では廣野医師が手術の杵を押さえまり、恒川医師は持ち前の計画性の良さで数ヶ月先まで杵を押さえる。そのため手術までは多少お待たせすることもあります。脊椎疾患に対する守備範囲は、「頸損と腫瘍以外」何でも診ています。アピールポイントのひとつに「いいと思ったものは積極的に取り入れる」事があげられます。MED、PPS、CBTは全道初。BKPも全道2施設目、OLIF/XLIF（両方やる施設も希）も全国トップランナーと並び導入。その他書き切れません。ですがそういう派手な手術だけでなく「普通の除圧」も「プロの仕事」をしています。

最後に若手医師、学生の皆様に一言。大学医局員の働き方、頑張りをみて「私はあんな風に出来ない」と思っている方も多いようです。安心して下さい。大学で仕事している人はいわゆるサブブレッド。言い換えると「変態」の集まりです。心配になったら豊中に遊びに来て下さい。バリバリ仕事して、その3倍遊んで飲んで。家族もレジャーも。そんな集団です。

あっ！膝G、股関節Gの紹介を書くスペースがなくなりました。ということでそれは来年以降（筆者バトンタッチします）のお楽しみとして下さい。

恵み野病院

村元敏明

恵み野病院に来たのが2001年4月、恵庭は住み良く、いつのまにか20年を超えてしまいました。

入職時は常勤二人体制でした。2011年度武田先生退職後一時的に常勤一人体制となりましたが、2014年度に恵庭第一病院を退職した太田先生が当院に就職し、現在は常勤二人体制で診療しております。

当院は急性期病院恵庭・千歳・北広島の救急医療を行っており、循環器科・糖尿病内科・透析科もあるので、整形外科は合併症を比較的多く持つ高齢者の外傷（股関節周囲骨折・脊椎椎体骨折など）治療を多く行っています。手術件数は年間60～70例、入院患者数は15人前後と、緩急の波はありますが忙し過ぎず落ち着いています。

また、働き方改革として、有給休暇を午前午後二コマに分けることで、休暇（公休：二コマ／月・代休：当直回数×一コマ）を取りやすくしております。

その他のニュースとしては、2021年9月に社会医療法人となり、2024年5月に病院新築移転を予定しています。

恵庭は札幌や千歳空港にほどほどに近く、街並みもきれいで、とても住みよい街です。

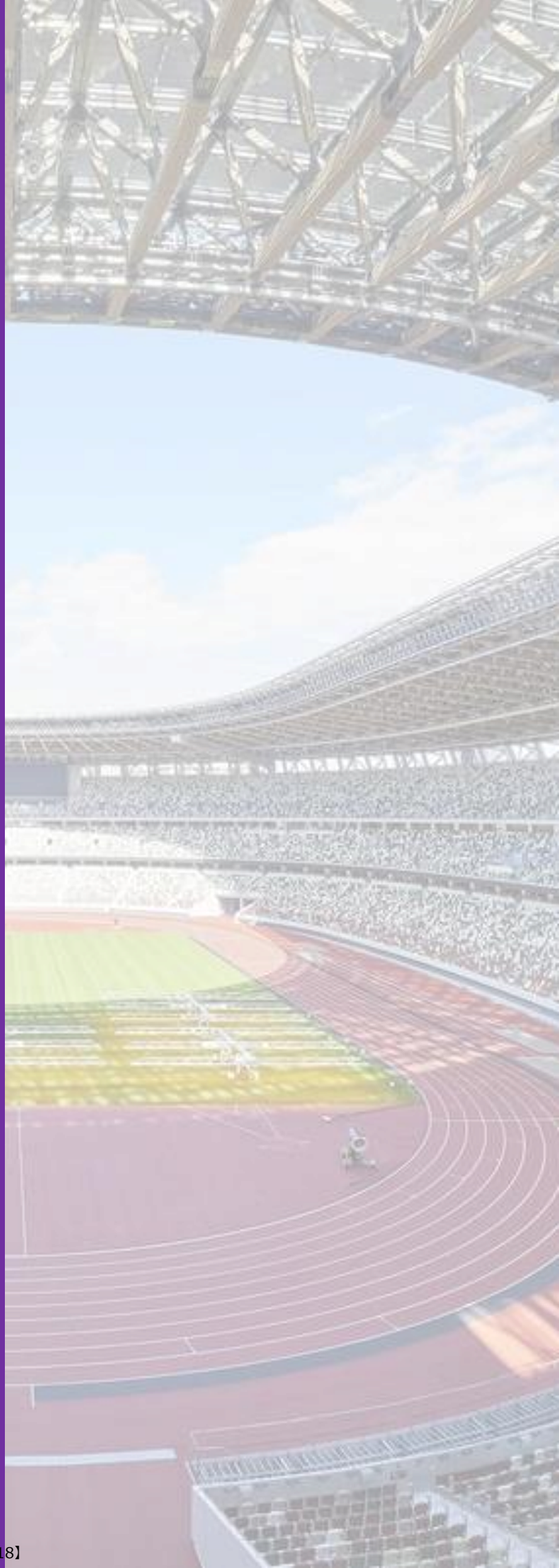
花の拠点「はなふる」は、季節ごとに種々の花が咲き、水遊びのできる噴水エリアもあるので、子育て世代にもとても人気があります。

私個人としては2023年1月で60歳定年退職となり大学医局についても定年退局とさせていただきます。長い間、大変お世話になりました。長い間、大変お世話になりました。その後につきましては恵み野病院に再雇用を申請し、恵庭の地域医療に貢献していければと考えております。



「医局便り」

寄稿文



北海道の現場の経験から、東京2020オリンピックへ ～バレーボール女子日本代表チーム～ 小原和宏

1999年富良野協会病院矢倉先生の許可のもと、子供のころから思い描いていた「現場でのバレーボール選手の診察」を開始しました。現場には診断用の機器・薬は無いため多くの工夫を必要としました。慢性障害では、肩・膝・腰に痛みを訴える選手が多いのですが、急性外傷は突き指と足関節捻挫が多い傾向にあります。北海道各地の学校をまわり、延べ3000名を越える選手達を現場で診察してきました。その経験をオリンピックで生かすことが出来たかな？と感じております。

予選のケニア戦で日本のエース（K選手）が相手の足の上によって右足関節捻挫を受傷しました。コロナ禍により私は大会会場にはいませんでしたので大会ドクターが初期治療（シーネ固定クーリング）をしてくださいました。その後、都内救急病院にて、その病院の医師の許可のもと診察することになりました。K選手は前回のリオオリンピックでは、ポスト木村沙織と言われ期待されていましたが、まさかのメンバー落選。そして2019年のワールドカップではレギュラーを獲得できずスランプの状態でした。しかしその後、フィジカルとメンタル共に磨き上げ絶好調で東京オリンピックに臨んでいました。





そんな中での捻挫でしたので非常に落ち込んでいました。声をかけにくい状況ではありましたが、今まで7年以上の付き合いがあります。少しずつ言葉を選んで会話を始め、シーネの包帯を外しました。見た目の第一印象ですが「思ったよりも腫れていない。踵骨が回外（後ろから見て内反）傾向」でした。身体が十分に暖まった時の捻挫はたとえ軽症でも非常に強い腫れになります。しかしK選手の腫れは私の経験とは異なるものでした。また、踵骨回外位について尋ねると、高校生のころに大きな捻挫をして固定をせずに復帰した既往があるようでした。次に圧痛部位を確かめました。前距腓靭帯には圧痛は無し。踵腓靭帯に圧痛はあるも軽度で腓骨筋腱に沿って圧痛がありました。急性靭帯損傷では圧痛部位が明確ですが、K選手の場合はまんべんなく軽めの圧痛が存在する状況でした。ほかにも根拠は多々あるのですが、「初回損傷の際に靭帯治癒をしていない状況での足関節捻挫」と診断。私の経験上復帰は7～10日と本人に伝えました。その瞬間、K選手が最高の笑顔になったのが印象に残っています。同時に医師としての言葉に普段の医療とは異なる重圧を感じました。K選手とのコミュニケーションを綿密に行い、最低限のテーピングと運動の許可を行いました。6日後には韓国戦に復帰することが出来ました。私はホテルのテレビの前での観戦でしたが、まるで子供を心配する親の様に涙を流しながら応援したのを覚えています。残念ながら予選敗退という結果になりましたが、私にとっては、「中学生のころから夢見たオリンピック。スポーツドクター人生20年の集大成」となりました。多くの先輩方・整形外科の同門の先生方のご協力のもと実現できた夢と実感しております。あと数年間ナショナルチームに携わるようになっております。今後も変わらぬご指導・ご教授のほどよろしくお願いいたします。

東京パラ五輪参加報告 阿部里見

障がい者スポーツ協会の公募から応募し、シッティングバレーボールの選手用医師として、会場で選手の怪我などに対応しました。五輪・パラ五輪には、①競技団体からの募集、②日本スポーツ協会/障がい者スポーツ協会からの募集、③指定病院での勤務医として参加する方法がありました。英会話の能力とスポーツ医としての活動歴が問われました。

コロナ禍で五輪の中止が叫ばれ、参加する医師は名誉がほしいからだといった非難を受け、'会場に行くまでに石を投げられたので注意するように'と連絡がきた時は、驚きました。また、使用しなかった医療備品の廃棄は、とても残念に思いました。

準備と実際の活動は、整形外科ホームページ (<https://orthop.asahikawa-med.ac.jp/>) の「同門会ページ」、「朝の勉強会」9.13パリンピック活動報告 (16MB) をご覧下さい。また、旭川医科大学ホームページ、ニュース/トピック、東京2020パリンピック・パラリンピック参加レポートの掲載について11.16 (https://www.asahikawa-med.ac.jp/index.php?f=show_topic&topic_cd=8133) をご覧下さい。実際は、足関節捻挫と脳振盪疑い程度でしたが、組織の統括方法、国際大会に必要な知識と技術を学びました。



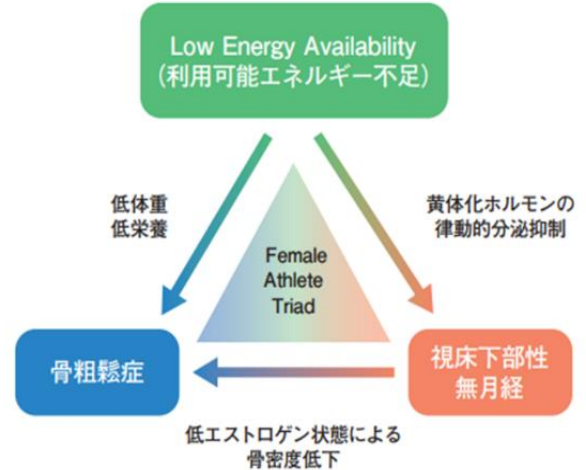


パラ五輪における医師の役割は、(1) 準備①メディカルチェック、②アンダーピーングの啓蒙と支援、指導、③クラス分け、④車いす、義肢義足開発のための科学的支援、(2) 開催中①大会中の選手村クリニックと各競技場の医療、②選手団の帯同医でした。パラアスリートの1/3は女性であり帯同医には必ず女性医師が含まれます。

女性アスリートに多い健康問題として、利用可能エネルギー不足（Low Energy Availability : LEA）、無月経、骨粗鬆症が挙げられ、『女性アスリートの三主徴』と呼ばれています。多くの女性アスリートがピルを用いて月経の調整をしている事を知りました。

(図：東大病院・女性アスリート外来のホームページ・資料より)

そもそも医師を志した動機は、スポーツ医になることでしたが、入局時、その志は否定されました。今回、地道な活動続け、五輪・パラ五輪に携わることができました。今後も出来る範囲の中で、アスリートを支える仲間を増やし、活動が続けたいと考えています。



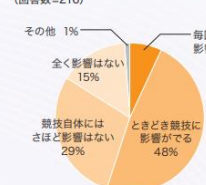
Mallinson J et al., Int J Womens Health, 2014, 6: 451-467.

図9 女性アスリートの三主徴 (Female Athlete Triad : Triad)

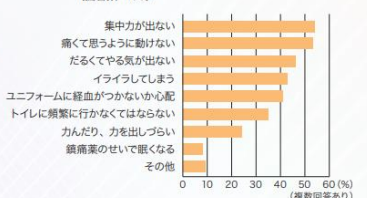


女性パラアスリートが困っていること

月経は競技に影響を与えている？
(回答数=216)



月経の影響ってどんなこと？
(回答数=133)



コロナ禍での海外留学

松倉圭佑

2021年6月からアメリカのユタ大学に留学中の大学下肢班松倉圭佑と申します。まだ留学後半年しか経過しておらず（執筆時2021年12月）、海外留学に関してお話できることは多くはありませんので、特に100年に一度とも言われているこのコロナ禍での留学という困難に対して、自分が感じたことをお伝えできればと思います。おそらくそれを端的に表現するなら、「感謝」という二文字に集約されると思います。

元々海外留学に興味を持ち始めたのは、入局して早々サンディエゴのORSに連れて行っていただいたことがきっかけでした。当時は整形外科の知識や英語力はほぼ皆無で、学会の内容は全く覚えていませんが、ただただアメリカという土地に憧れを抱きました。単純な憧れが海外留学を意識したきっかけで、決して堂々と胸を張って言えるようなものではありませんでした。ただ、その憧れをぶれることなくずっと持ち続けておりました。

それから約8年の月日が経ち、その憧れが現実的になったのが、2018年に進藤正明先生が主宰された旭川ACLセミナーで、講演に来ていただいた東海大学佐藤正人先生との出会いでした。その会食の場で僕の海外留学の希望を聞き入れていただき、東海大学と連携しているアメリカユタ大学へ推薦していただけることになりました。夢がほんとに現実になるかもしれないと、とても興奮を覚えました。

大学下肢班で2年間勉強し、2020年4月からの東海大学での国内留学を経て、6月からユタ大学に渡米する予定で手続きを進めていました。しかし、そこで大きく立ちはだかったのがコロナでした。2020年3月から海外ビザ発給が無期限停止されました。この時程、自分の運の無さを嘆いたことはありませんでした。



行く末が完全に不透明になりましたが、予定通り4月から東海大学で研究させていただきました。正直新たな地での挑戦に不安もありましたが、医局の先生や研究員の方々が非常に優しく接してくれて、とても充実した日々を送ることができました。より学びたい気持ちもあり研究期間を延長していただきましたが、依然として留学の目途が立たず徐々に不安が大きくなっていきました。この生活はいつまで続くのか、金銭的には大丈夫だろうか、最終的に海外留学は行けるのだろうか。不安を抱えながらも誰にも相談できずに過ごしていたある日、下肢班阿部先生から「いつでも帰ってきてもいいんだよ」とメールをいただきました。その時、ずっと張りつめていたものがふっと楽になったのを今でも覚えてます。医局にも御理解をいただき、9月から大学勤務に復帰させていただきました。



復帰するに際し、何もできずに路頭に迷っている自分を後ろめたくも気恥ずかしくも感じておりましたが、大学内外に関わらず多くの先生方が優しく声をかけてくれました。出張の相談も快く受けていただきました。御自身の留学前の苦労した経験を重ねて励ましてくれる先生もいました。ある先生には、「そういう苦労も含めて留学だからな」ととても気持ちが楽になる言葉をかけていただきました。もちろん一番近くにいる下肢班の先生もポジティブな言葉をずっとかけ続けてくれました。英語の勉強をしている自分に、「受験生みたいですね！」といじってくれる後輩もいました。皆さんの一言一言がほんとにありがたく、そのおかげで間違いなく気持ちが折れずに頑張れたと思います。結果丸一年遅れましたが渡米することができ、留学後も多くの先生から励ましのメールをいただきました。ほんとに感謝しております。

コロナウイルスは、人や社会に分断をもたらすウイルスと言われておりますが、人の夢まで壊すウイルスなのかと、非常に憎く思っておりました。こちらに来てからも、このウイルスのせいで振り回されることは多々ございます。しかし、将来この時を振り返った時には、「感謝」という言葉が浮かぶのは間違いのないと思います。

この気持ちを忘れず、謙虚に頑張っていきたいと思います。実際のアメリカでの研究や生活に関しては、もう少し時期が経ってから改めてご報告できればと思っておりますが、こちらでの写真を数枚だけ載せておきます。

「医局便り」

結婚・出産 報告





この度良縁に恵まれて2021年3月6日に入籍いたしました。妻は医大の小児科病棟で働いていた看護師さんです。これからは一家の大黒柱としてより一層仕事に邁進し、少しでも医局の力になればと思いますので、宜しく願い申し上げます。

藤澤拓真



左：諒真（りょうま） 2021.8.9 生
右：柚羽（ゆずは） 2017.12.12 生



我が家に長男が誕生いたしました。年度末にお騒がせいたしました。家族四人みな元気に過ごしております。今後も家族で力を合わせて精進いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

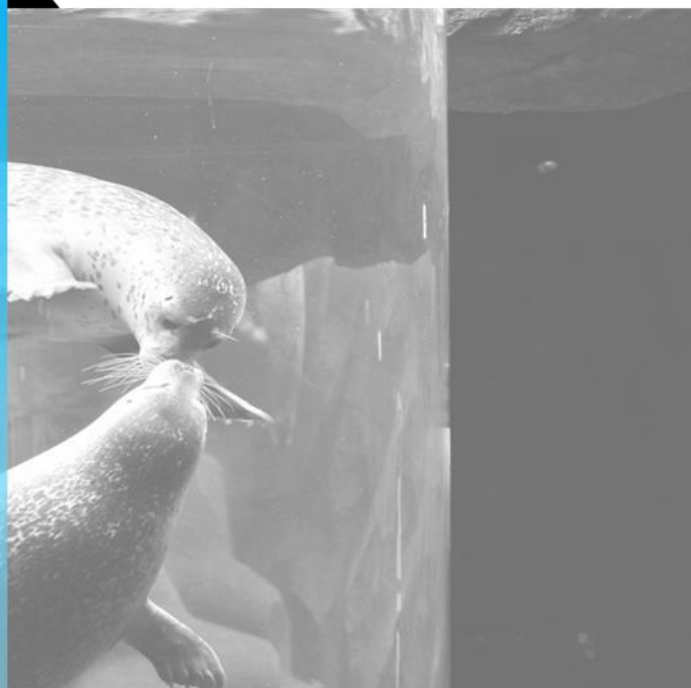
岡安浩宜



業績集

Copyright(C) Asahikawa City

1. 教室 研究業績



学位論文

1. Mitsutake R, Tanino H, Nishida Y, Higa M*1, Ito H. A simple angle-measuring instrument for measuring cemented stem anteversion during total hip arthroplasty. BMC Musculoskelet Disord. 21(1). P113. 2021. 9

*1:University of Hyogo

欧文論文

【2021 同門学術奨励賞論文】

1. Jimbo S, Imai M, Atsuta Y, Kobayashi T, Senoo I, Ito H. Evaluation of a new apparatus combining a mobile device and hand-held roller for the detection of spinal deformities: association with the sum of the right and left angles of trunk inclination. Eur Spine J. 29(8), 1993-1999. 2020. 8

【学術論文】

1. Sasaki Y(University of Pittsburgh), Fujii M, Araki D, Marshall BD, Linde MA, Smolinski P, Fu FH. Effect of Percentage of Femoral Anterior Cruciate Ligament Insertion Site Reconstructed With Hamstring Tendon on Knee Kinematics and Graft Force. Am J Sports Med.49(5), 1279-1285. 2021. 4

2. Tanino H. CORR Insights: The Effects of Postural Pelvic Dynamics in the Three-dimensional Orientation of the Acetabular Cup in THA Is Patient Specific. Clinical Orthopaedics and Related Research. 479(3), 572-574. 2021.3

3. Inoue K*1, Suenaga N*2, Oizumi N*2, Yamaguchi H*3, Miyoshi N, Taniguchi N*4, Morita S*2, Kurata S*1, Tanaka Y*1. Glenoid bone resorption after Bankart repair: finite element analysis of postoperative stress distribution of the glenoid. J Shoulder Elbow Surg.30(1):188-193. 2021. 1

*1 Nara Medical University

*2 Orthopaedic Hokushin Hospital

*3 Rehabilitation Clinic Yamaguchi

*4 Kagoshima University

【欧文論文】

4. Tanino H, Nishida Y, Mitsutake R, Ito H. Accuracy of a portable accelerometer-based navigation system for cup placement and intraoperative leg length measurement in total hip arthroplasty: a cross-sectional study. BMC Musculoskelet Disord. 22(1), 299. 2021.3

5. Mitsutake R, Tanino H, Ito H. The effect of range of motion simulated with a patient-specific three-dimensional simulation analysis on dislocation after total hip arthroplasty. HIP International. 2021. 9

6. (proceedings paper) Okayasu H, Kobayashi T, Senoo I, Shimizu M, Imai M, Chiba H*1, Sugisawa H*2, Sugawara T*3, Ito H. Core muscle strength is better indicator for ASD than grip power : a community-dwelling female cohort ASAP study. Eur Spine J. 30(1), 342. 2021. 1

*1: Furano Geriatric Health Services Facilit

*2: Furano Kyokai Hospital *3: Biei Town Hospital

邦文論文・解説

1. 入江徹, 三好直樹, 奥原一貴, 伊藤浩. 非結核性抗酸菌による肩関節炎の1例. 肩関節. 45(2), 422-425. 2021.4

2. 入江徹, 三好直樹, 奥原一貴, 伊藤雄人*1, 伊藤浩. 北海道における手外科・肘関節外科治療の現状と課題 スポーツ障害・外傷の治療(肘関節). 北海道整形災害外科学会雑誌. 62(2), 122-128. 2021.4

*1: スポキチクリニック

3. 阿部里見. 本学バスケットボール選手の傷害と靴・足底圧の検討. JOSKAS 誌. 46(1), 216-217. 2021.3

4. 阿部里見. 膝蓋大関節症を伴う外反膝変形にたいする大腿骨遠位骨切り術の2例. JOSKAS 誌. 46(2), 370-371. 2021.5

5. 阿部里見, 佐藤剛, 佐々木祐介. 第5趾基節骨骨切り術を施行した成人 curly toe の一例. 日本足の外科学会雑誌 J. Jpm. Soc.Sug.Foot. 40(1), 199-201. 2021.10

6. 阿部里見, 佐藤剛, 佐々木祐介. 関節リウマチにおける Lapidus 法を併用した母趾 MTP 関節固定術後の母趾足底痛の検討. 日本足の外科学会雑誌 J. Jpm. Soc.Sug.Foot. 40(1), 37-40. 2021.10

7. 村住拓哉, 阿部里見, 佐藤剛, 佐々木祐介. 外脛骨障害に対する手術療法の成績—SAFEQ を用いた検討. 日本足の外科学会雑誌 J. Jpm. Soc.Sug.Foot. 40(1), 140-143. 2021.10

8. 渡辺愉美, 伊藤敦巳, 伊藤浩, 藤井聡. 自己血貯血におけるヘモグロビン低下を予測する因子の解析. 北海道医学雑誌. 96(2), 55-60. 2021.11

講演

1. 伊藤浩. 小児股関節疾患の治療. 第4回北海道小児整形外科研究会. 2021. 2

2. 伊藤浩. 変形性股関節症に対する骨盤骨切り術. 第22回千葉県整形外科病診連携セミナー. 2021. 7

3. 小林徹也. 高齢者に多い脊椎疾患パースペクティブ. 三木会学術講演会. 2021. 7

4. 三好直樹. 肩関節疾患の治療指針～五十肩・腱板断裂から変形性関節症まで～. 三木会学術講演会. 2021. 3

5. 三好直樹. 筋腱移行術を併用したリバー型人工肩関節置換術. 第26回肩関節手術研究会. 2021. 8

6. 三好直樹. 当科における腱板広範囲断裂に対する治療戦略. 第70回東日本整形外科学会. 2021. 9

【講演】

7. 妹尾一誠. 椎体骨折における BKP(Balloon Kyphoplasty)治療. Spine Expert Web Seminar In Asahikawa. 2021.8

8. 佐々木祐介. Current Concept 小児骨端線開存膝における ACL 損傷の治療戦略. 第 58 回北海道膝関節研究会. 2021. 9

邦文著書

1. 阿部里見. 変形性膝関節症に対する保存治療. 全日本病院出版会. 膝関節リハビリテーション診療マニュアル. 55-62. 2021. 2

2. 阿部里見. 小児・若年者の変形矯正手術の注意点. 全日本病院出版会. 症例から学ぶ膝周囲骨切りピットフォール. 125-134. 2021. 9

3. 三好直樹. 一次修復不能腱板広範囲断裂に対する治療戦略 一筋腱移行から人工骨頭・関節置換一. 全日本病院出版会. Orthopaedics 34 巻 11 号 83-95. 2021. 10

4. 佐々木祐介. 前十字靱帯再建術. メディカ出版. 整形外科看護 26 巻 11 号 1078-1086. 2021.11



国際学会発表

【ORS】

1. Mitsutake R, Ito H, Tanino H, Nishida Y. The effect of range of motion simulated with three-dimensional simulation analysis on dislocation after total hip arthroplasty. 2021.2 (Poster)

【APSS-APPOS 2021 13th Combined Meeting of Asia Pacific Spine Society & Asia Pacific Paediatric Orthopaedic Society】

1. ABE S. A Study of the Timing of Guided Growth Surgery by Eight Plates for Leg Length Discrepancy. 2021.6 (Oral)

【EURO SPINE 2021】

1. Senoo I, Kobayashi T, Ito H. The differences of the site of lumbar degenerative spondylolisthesis might be associated with not only spinopelvic morphology but also muscle strength and gait balance. 2021. 10(Poster)

【ISAKOS2021 Grobal Cngress】

1. ABE S. Osteotomy for degenerative meniscus. 2021.11 (Poster)

【International Conference on Arthroplasty and Orthopedic Surgery 2021】

1. ABE S. A medial and lateral balance ratio of about 1.2 gives deep knee flexion angle with PS-type TK. 2021.11 (Poster)

2. ABE S. The characteristics of soft tissue balance in ACL deficient osteoarthritis knee at total knee arthroplasty. 2021.11 (Poster)

国内学会発表

【第 94 回日本整形外科学会学術集会】

1. 谷野弘昌、西田恭博、光武 遼、伊藤 浩. 新しいバージョンのポータブルナビゲーションによるカッパ設置と脚長測定の精度. (口演) 2021.5

2. 三好直樹、末永直樹*1、大泉尚美*1、谷口昇*2、井上和也*3、久田幸由*4、川真田純*4、伊藤浩. 70 歳以下の Cuff tear arthropathy に対する小径人工骨頭置換術と腱板再建術の長期成績. (口演) 2021. 5

*1:整形外科北新病院整形 *2:鹿児島大付属病院整形
*3:奈良医大整形 *4:博愛会開成病院整形

3. 佐々木祐介、阿部里見、佐藤 剛、松倉圭佑、伊藤 浩. ACL 損傷膝における膝安定性とレムナント形態との関係についての詳細な検討 (口演). 2021.5

4. 佐藤剛、Christopher DiGiovanni*1、阿部里見、佐々木祐介、松倉圭佑、伊藤浩、谷口昇*2、田中康仁*2. The stability of Total talar prosthesis - How stable to dislocation? Cadaveric study -. (口演) 2021. 5

*1:Massachusetts General Hospital *2:奈良医科大学

5. 光武遼、谷野弘昌、西田恭博、伊藤浩. 人工股関節全置換術における骨頭径の術中関節可動域への影響. (口演) 2021. 5

6. 光武遼、谷野弘昌、西田恭博、伊藤浩. 人工股関節全置換術前後における同側股関節、膝関節および足関節 axial alignment の変化について. (口演) 2021. 5

7. 岡安浩宜、小林徹也、清水睦也、妹尾一誠、伊藤浩. 握力・体幹下肢筋力と成人脊柱変形 X 線評価との関係 - 住民検診コホート研究から -. (ポスター) 2021. 5

8. 井上和也*1、末永直樹*2、大泉尚美*2、三好直樹、森田修蔵*3、倉田慎平*4、田中康仁*4. 腱板修復の有無による上腕骨骨吸収 単一機種による検討 (口演).

2021. 10

*1:奈良医大スポーツ整形 *2:整形外科北新病院整形
*3:大手前病院整形 *4:奈良医大整形

【第 139 回北海道整形災害外科学会】

1. 谷野弘昌、西田恭博、光武 遼、伊藤 浩. 新バージョンの加速度計を基にしたポータブルナビゲーションによるカッパ設置と脚長測定. (口演) 2021.1

2. 阿部里見、佐々木祐介、佐藤剛、松倉圭佑、伊藤浩. PS 型 TKA で良好な屈曲角と臨床成績を得る適切なギャップ・バランスの検討. (口演) 2021.1

3. 清水睦也、小林徹也、妹尾一誠、伊藤浩. 地域住民女性を対象としたコホート研究による成人脊柱変形と股関節可動域の関係. (口演) 2021. 1

4. 佐藤剛、阿部里見、佐々木祐介、松倉圭佑、西能渉一、伊藤浩. 下腿術後に腱癒着障害を呈した 3 例. (口演) 2021. 1

5. 光武遼、谷野弘昌、西田恭博、伊藤浩. 人工股関節全置換術前後における同側股関節、膝関節及び足関節 axial alignment の変化について. (口演) 2021. 1

6. 笹井健吾、妹尾一誠、小林徹也、伊藤浩. 胸椎化膿性脊椎炎との鑑別を要した多発血管性肉芽種炎症関連脊椎炎の 1 例. (口演) 2021. 1

7. 村住拓哉、妹尾一誠、小林徹也、伊藤浩、清水睦也*1. 腰椎レベルに発生した Eden Type3 の腫瘍で神経鞘腫ではなかった 2 例. (口演) 2021. 1

*1: 帯広協立病院

【第 50 回日本脊椎脊髄病学会】

1. 妹尾一誠、小林徹也、清水睦也、西能渉一、伊藤浩. 腰椎変性圧り症と脊柱骨盤形態、歩行バランス、背筋や殿筋低下との関係についての検討. (口演) 2021. 4

【国内学会発表】

【第 65 回北海道脊椎脊髄疾患研究会】

1. 岡安浩宜、柴田宏明、妹尾一誠、丹代晋、小林徹也、伊藤浩、仙骨発生脊索腫に対し重粒子線治療を行った 3 例の治療経験。（口演）2021. 5

【第 140 回北海道整形災害外科学会】

1. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、伊藤浩、外反膝変形に対する PS 型 TKA のアプローチの違いによるコンポーネントギャップ。（口演）2021. 6

2. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、伊藤浩、骨系統疾患の膝変形に対しエイトプレートによる guided growth で治療した症例の検討。（口演）2021. 6

3. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、伊藤浩、膝蓋大腿関節損傷による JACC 移植後 MRI における T2 値の経時的变化。（口演）2021. 6

4. 妹尾一誠、小林徹也、腰椎変性すべりと、脊柱骨盤形態や姿勢、体幹筋力低下との関係について。（口演）2021. 6

5. 柴田宏明、丹代 晋、伊藤 浩、リンパ節転移切除後、良好な予後を得られた軟部肉腫の 2 例（口演）2021. 6

6. 佐藤剛、阿部里見、佐々木祐介、伊藤浩、母趾種子骨障害に対し内側種子骨切除術を施行した 1 例。（口演）2021. 6

7. 光武遼、谷野弘昌、伊藤浩、各種インプラントにおけるオフセットおよび脚長の再現度の検討（口演）。2021. 6

8. 岡安浩宜、小林徹也、清水睦也*1、妹尾一誠、加茂裕樹*2、伊藤浩、成人脊柱変形 X 線項目と握力・体幹筋力の関連－住民検診コホート研究から－。（口演）2021. 6

*1:帯広協立病院 *2:旭川赤十字病院

9. 萱場幸太郎、阿部里見、松倉圭佑、佐々木祐介、伊藤浩、病期分類ステージ 0 で初診した糖尿病性神経障害性関節症の一例。（口演）2021. 6

10. 奥原一貴、三好直樹、奥山峰志*1、入江徹、伊藤浩、当科における上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する手術治療の短中期成績。（口演）2021. 6

*1:奥山整形外科クリニック

11. 市原一矢、谷野弘昌、光武 遼、伊藤 浩、人工股関節感染に対する人工股関節抜去術後に仮性動脈瘤となり経カテーテル的塞栓術を要した一例。（口演）2021. 6

12. 宮原樹里、阿部里見、高木建一、佐藤剛、佐々木祐介、伊藤浩、人工膝関節置換術後に低 Na 血症による意識障害をきたした 1 例。（口演）2021. 6

【JOSKAS/JOSSM meeting 2021】

1. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、膝関節周囲の骨棘形成には脛骨近位と遠位アライメントも関与する。（口演）2021. 6

2. 佐藤剛、阿部里見、Lisfranc ligament injury treated with Suture button -4 cases evaluation.（口演）2021. 6

3. 萱場幸太郎、阿部里見、佐々木祐介、前十字靱帯再建術後の脛骨巨大骨嚢胞の一例。（ポスター）2021. 6

4. 奥原一貴、三好直樹、奥山峰志*1、入江徹、伊藤浩、当科における上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する手術治療の短中期成績。（口演）2021. 6

*1:奥山整形外科クリニック



【国内学会発表】

【第 51 回日本人工関節学会】

1. 阿部里見、佐々木祐介、佐藤 剛、松倉圭佑、伊藤浩、能地仁*1. PS 型 TKA で良好な屈曲角を得る適切なギャップ・バランスの検討（口演）.2021.7

*1:大西病院

2. 佐々木祐介、阿部里見、佐藤 剛、松倉圭佑、伊藤 浩. Journey II BCS における ROM 法を用いた脛骨インプラント回旋設置についての検討（口演）.2021.7

3. 笹井健吾、阿部里見、佐々木祐介、佐藤 剛、松倉圭佑、伊藤 浩. TKA クリニカルパスのバリエーションに与える因子の検討と早期退院の課題（口演）.2021.7

【北海道股関節研究会 2021】

1. 谷野弘昌、光武 遼、伊藤 浩. 側臥位ポータブルナビゲーションのカップ設置精度の検討.（口演）2021.8

【第 70 回東日本整形災害外科学会】

1. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、伊藤浩. 膝関節周囲 BCG 骨髓炎の 10 年の治療経過.（口演）2021. 9

2. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、伊藤浩. 外反型変形性膝関節症に対して施行した遠位大腿骨閉鎖式骨切り（DFO）の短期成績.（口演）2021. 9

3. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎、伊藤浩. 外反型膝変形に対する PS 型 TKA のアプローチの違いによるコンポーネントギャップ.（口演）2021. 9

4. 妹尾一誠、小林徹也、岡安浩宜、伊藤浩. 腰椎変性すべり症の有無、罹患部位と、脊柱骨盤形態や体幹筋力低下との関係性についての考察.（口演）2021. 9

5. 岡安浩宜、小林徹也、清水睦也*1、妹尾一誠、伊藤浩. 握力・体幹下肢筋力と成人脊柱変形との関係－住民検診コホート研究から－.（口演）2021. 9

*1:帯広協立病院

6. 萱場幸太郎、阿部里見、佐々木祐介、伊藤浩. 人工膝関節全置換術後に深部感染を併発した皮膚壊死を来し関節固定で治療した一例.（口演）2021. 9

7. 市原一矢、阿部里見、佐々木祐介、伊藤浩. 陳旧性 Maisonneuve 骨折に対し suture-button を用いた一例.（口演）2021. 9



【国内学会発表】

【第 48 回日本股関節学会学術集会】

1. 谷野弘昌、光武 遼、伊藤 浩. 側臥位ポータブルナビゲーションのカップ設置精度（口演）. 2021.10

2. 光武遼、谷野弘昌、伊藤浩. 各種インプラントにおけるオフセットおよび脚長の再現度の検討（口演）. 2021. 10

【道北外傷セミナー2021】

1. 市原一矢. 腸管損傷を合併した骨盤開放骨折の一例（口演）. 2021. 10

【第 48 回日本肩関節学会】

1. 三好直樹、末永直樹*1、大泉尚美*1、久田幸由*2、川真田純*2、伊藤浩. 上腕二頭筋長頭腱移行術を併用した小径人工骨頭置換術と腱板再建術.（口演）2021. 10

*1:整形外科北新病院整形 *2:帯広開西病院

2. 奥原一貴、三好直樹、入江徹、伊藤浩. 当科における腱板断裂術後 10 年以上の長期成績.（口演）2021. 10

3. 森田修蔵*1、末永直樹*2、大泉尚美*2、吉岡千佳、山根慎太郎、松橋智弥、三好直樹、井上和也. RSA での SSC 修復困難例に対する大胸筋移行併用術.（口演）2021.

10

*1:大手前病院整形 *2: 整形外科北新病院整形

【第 46 回日本足の外科学会学術集会】

1. 阿部里見、萱場幸太郎、佐藤剛、佐々木祐介. 距骨骨軟骨障害に脛骨遠位内果シャペロン骨切りを用いた自家骨軟骨移植術の術後成績.（口演）2021. 11

2. 萱場幸太郎、阿部里見、佐々木祐介. 開放性距骨脱臼骨折後に距骨壊死と化膿性足関節炎をきたし二期的に関節固定術を施行した一例.（口演）2021. 11

【第 1 回日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation】

1. 阿部里見、佐々木祐介、萱場幸太郎. OWHTO と併用術式別の 9 年までの MRI 経時的変化.（口演）2021. 12

2. 阿部里見. 小児と成人関節軟骨の同種免疫反応の違い.（ポスター）2021. 12

3. 萱場幸太郎、阿部里見 佐々木祐介 OWHTO 術後偽関節の一例.（ポスター）2021. 12

特別研究費 による研究課題

1. 厚生労働科学研究費補助金. 難治性疾患政策研究事業 2021 年度. 特発性大腿骨頭壊死症研究班. 菅野伸彦（大阪大学）.伊藤浩. 谷野弘昌（分担研究者）.



2. 関連病院 業績



欧文論文

1. Sato G, Saengsin J, Sornsakrin P, Bhimani R, Lubberts B, Taniguchi A, DiGiovanni C, Tanaka Y. The stability of total talar prosthesis-How stable to dislocation? Cadaveric study. J Orthop Res. 2021 Dec 13. Online ahead of print.

国内学会発表

(開催月順/発表者五十音順)

【JOSKAS/JOSSM meeting 2021】

1. 佐藤剛（富良野協会病院）、阿部里見、佐々木祐介. リスフラン靱帯損傷に対し Suture button を用いて治療した 4 例の検討. 2021.6

【第 51 回日本人工関節学会】

1. 佐藤剛（富良野協会病院）、阿部里見、佐々木祐介. 人工距骨置換術後の足関節はどれだけ安定しているのか？-カダバ研究-. 2021.7

【第 28 回北海道下肢と足部疾患研究会】

1. 佐藤剛（富良野協会病院）. ポストン留学-研究報告-. 2021.8

【第 8 回北海道 MIST 研究会】

1. 松盛寛光（北見赤十字病院）. Navigation 手術導入から 3 年の雑感. 2021.9

【第 48 回日本股関節学会】

1. 西能渉一（北見赤十字病院）、谷野弘昌、光武遼、伊藤浩. 人工股関節全置換術術後反復性脱臼に対するカップ再置換術の臨床成績. 2021.10

【第 11 回足の外科学会】

1. 佐藤剛（富良野協会病院）. エコーを用いた足関節不安定性における新たな評価法. 2021.11

学術受賞

1. 佐藤剛（富良野協会病院）. エコーを用いた足関節不安定性における新たな評価法 第 11 回足の外科学会 一般演題オンデマンド配信視聴賞 第 2 位. 2021.12

3. 同門業績



欧文論文

1. Amano T(Tokoha Univ.), Tamari K*1, Suzuki N. Cross-Validation of a Screening Tool to Distinguish Between Fallers and Nonfallers in Community-Dwelling Older Adults With Knee Osteoarthritis. Arch Phys Med Rehabil. 2021 Apr;102(4):598-603.

*1:Teikyo Heisei Univ.

2. Sanada T(Department of Sports Orthopedic Surgery, Kanto Rosai Hospital), Iwaso H, Fukai A, Honda E, Yoshitomi H. Comparison Study of Mini-incision Versus Original Open Technique of the Half-Mini-Bunnell Achilles Tendon Repair. J Foot Ankle Surg. 2021 Sep 20;S1067-2516(21)

3. Sanada T(Department of Sports Orthopedic Surgery, Kanto Rosai Hospital), Iwaso H, Fukai A, Honda E, Yoshitomi H, Inagawa M. All-Inside Repair for Radial Tear at the Posterior Horn of the Lateral Meniscus: A Figure-8 Suture Technique. Arthrosc Tech. 2021 Jul 20;10(8):e1973-e1977

4. Sanada T(Department of Sports Orthopedic Surgery, Kanto Rosai Hospital), Iwaso H, Fukai A, Honda E, Yoshitomi H, Inagawa M. Anatomic Anterior Cruciate Ligament Reconstruction Using Rectangular Bone-Tendon- Bone Autograft Versus Double-Bundle Hamstring Tendon Autograft in Young Female Athletes. Arthrosc Sports Med Rehabil. 2021 Feb 4;3(1):e47-e55.

5. Sanada T(Department of Sports Orthopedic Surgery, Kanto Rosai Hospital), Uchiyama E, Iwaso H, Fukai A, Muscle strength after the anterior cruciate ligament reconstruction via contralateral bonetendon- bone autograft. J Exp Orthop. 2021 Oct 6;8(1):86.

6. Sanada T(Department of Sports Orthopedic Surgery, Kanto Rosai Hospital), Iwaso H, Fukai A, Honda E, Yoshitomi H, Miyu I. A modified anatomic trantibial double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction provides reliable bone tunnel position. Arthrosc Sports Med Rehabil.2021 e1-e11

邦文論文・解説

(筆頭著者五十音順)

1. 和泉 俊平, 高橋 さやか, 大村 優太, 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック) きかいと装具 ロコモティブシンドローム 高齢患者のロコモ度テストおよび歩行時加速度に対する体幹筋トレーニング装置導入後の短期成績, 整形外科 72 巻 2 号 Page152-156, 2021.02

2. 佐々木恭兵、内田栄二、佐藤佑佳、竹光正和（村山医療センター）．院内感染を考える 当センター職員における流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体価の現状と課題. 医療 75 巻 5 号 Page419-422. 2021. 10

3. 眞田高起（関東労災病院 スポーツ整形）、内山英司、橋下立子. 新鮮足関節外側靱帯損傷に対する早期荷重キャストによる保存治療. 日本臨床スポーツ医学会誌 29 巻 2 号 Page268-273. 2021. 4

4. 鈴木 伸治(常葉大学) オンライン開催となった第 75 回日本体力医学会大会と第 74 回 American Academy for Cere and Develobral Palsypmental Medicine(AACPDM)年次学術総会に参加して 常葉大学保健医療学部紀要 12 巻 Page59-64

5. 鈴木 伸治(常葉大学), 里中 綾子 臨床現場における脳性麻痺歩行分析のススメ 虫眼鏡的視点に基づいた簡易歩行分析の有用性 常葉大学保健医療学部紀要 12 巻 1 号 Page39-45, 2021.03

6. 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック) カラーフォーラム 膝関節内ヒアルロン酸注入における傍膝蓋骨刺入法 整形外科 72 巻 5 号 Page450-451, 2021.05

7. 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック), 岩本 潤 経験と考察 性同一性障がい者の骨密度調査結果 整形外科 72 巻 8 号 Page833-837, 2021.07

8. 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック), 岩本 潤 経験と考察 治療開始時平均年齢 80 歳の骨粗鬆症患者におけるイバンドロネート静注製剤の骨密度および骨強度指標 72 巻 11 号 Page1135-1138, 2021.10

9. 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック) カラーフォーラム L 型骨のみを用いた Dall 進入法による人工股関節全置換術 整形外科 72 巻 12 号 Page1272-1273, 2021.11

10. 富田 智貴, 松村 夏奈, 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック) 経験と考察 海綿骨スコアを用いた骨粗鬆症性椎体骨折好発部位における海綿骨微細構造 整形外科 72 巻 5 号 Page413-417, 2021.05

11. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．人工膝関節における屈曲内側ギャップと屈曲角度改善率の関係．人工関節学会誌. 51, 161-162, 2021.12

12. 藤井 昌, 宮腰 尚久, 大湾 一郎, 川村 大介, 高桑 昌幸(高桑整形外科永山クリニック), 粕川 雄司, 島田 洋一 天然型ビタミン D(コレカルシフェロール)含有饅頭による血清 25(OH)D 濃度改善の試み 日本骨粗鬆症学会雑誌 7 巻 1 号 Page59-67, 2021.02

邦文著書

(筆頭著者五十音順)

1. 眞田高起(関東労災病院 スポーツ整形). 講座スポーツ整形外科 下肢のスポーツ外傷・障害. アキレス腱断裂. 中山書店. 217-224. 2021

2. 竹光義治(大分整形外科病院). 臨床雑誌 整形外科. 東西ドイツ分断時代のドイツ留学. 南江堂. Vol72-8, 914. 2021. 7

3. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．関節外科 UKA の適応と手技の最前線. Mobile-bearing UKA: Oxford Partial Knee. メジカルビュー社. 47-57. 2021.9

講演

(講演者五十音順)

1. 眞田高起（関東労災病院スポーツ整形）．第2回 Mitek Café. 解剖学的長方形 BTB 再建術の工夫. 2021. 8
2. 竹光義治（旭川医科大学名誉教授・大分整形外科病院）．第50回日本脊椎脊髄病学会 レジェンドシンポジウム. 我が国における成人脊柱の Sagittal Malalignment, なかなく変性後弯症医療の歴史から学んだこと. 2021. 4
3. 竹光義治（旭川医科大学名誉教授・大分整形外科病院）．九州大学別府病院集談会(90周年記念) 記念講演. 中高年者の腰痛. 2021. 11
4. 竹光義治（旭川医科大学名誉教授・大分整形外科病院）．第8回旭川 Bone Forum．中高年者の腰痛診療において気を付けてほしいこと—旭川から始まった Adult Spine Deformity の研究. 2021. 11
5. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ 運動器疾患フォーラム 信州北陸 on Web, 2021.1
6. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～慢性疼痛治療セミナー on Web, 2021.1
7. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンと UKA の選択～ 疼痛治療を考える会 on Web, 2021.1
8. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンと UKA の選択～リリー慢性疼痛学術懇話会, 2021.2
9. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～慢性疼痛治療検討会 on Web, 2021.2
10. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンと UKA の選択～たまペイン Forum 2021, 2021.2
11. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ Pain Conference on Web, 2021.2
12. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．見てしまった・・・ 適応判断を迷わせる診断画像 Oxford UKA Extra Edition Webinar, 2021.2
13. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．Surgical Technique に起因する Complication risk と予防策 Oxford UKA Extra Edition Webinar, 2021.2
14. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ Joint Pain Web Conference in 熊本, 2021.3
15. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．まずは『お通し！』外側 UKA 症例提示 Oxford UKA Extra Edition Webinar, 2021.3
16. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ Pain Web Seminar, 2021.3
17. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～膝 OA 治療を考える会 Online 2021, 2021.3
18. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～慢性疼痛治療を考える会 on Web, 2021.3

【講演】

19. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～運動器疼痛セミナー in 岐阜, 2021.3
20. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ Pain Control Conference ～患者さんの ADL・QOL 向上のために, 2021.4
21. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～道東 web カンファレンスー慢性疼痛 FORUMー Online, 2021.4
22. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ Lilly East Japan Cymbalta Web Conference, 2021.5
23. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ～デュロキセチンと UKA という新しい選択 21 世紀整形外科懇話会, 2021.6
24. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．TKA の術後疼痛を考える～慢性疼痛と医原性疼痛 TKA カンファレンス広島, 2021.6
25. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．サインバルタを使いこなす！-ベネフィット最大化とリスク最小化を目指して- Duloxetine Pain Web Series, 2021.6
26. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～リリー慢性疼痛学術懇話会, 2021.7
27. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA 治療～薬と人工関節とその間を埋めるもの 備後整形外科医会学術講演会, 2021.8
28. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～リリー慢性疼痛学術懇話会, 2021.8
29. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ ～デュロキセチンという新しい選択～ Pain Conference on Web, 2021.9
30. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．Surgical Demonstration Video Oxford Partial Knee Web Instructional Course, 2021.9
31. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．Learning Curve 初期に起こしやすいテクニカルエラー Oxford Partial Knee Web Instructional Course, 2021.9
32. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．軽視してはならない前方トリミング Oxford Partial Knee Web Master Course, 2021.10
33. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．ひざが痛い！どうして良くならないの？市民公開講座 ひざの健康寿命を延ばそう！, 2021.10
34. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．安心安全な UKA のために広島 UKA セミナー, 2021.11
35. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．膝 OA の治療アプローチ～デュロキセチンと UKA という新しい選択 Lilly East Japan Cymbalta Web Conference, 2021.12
36. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．Surgical Technique に起因する Complication risk と予防策 GMK Sphere Spoon Gauge and Spacer Block Meeting, 2021.12
37. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．CS Mobile TKA Design Rationale. モバイル TKA を考える～患者満足度獲得のため、術後安定性のある膝を求めて～, 2021.12

国内学会発表

(開催月順/発表者五十音順)

【第 139 回北海道整形災害外科学会】

1. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．人工膝関節における屈曲ギャップと屈曲角度改善率の調査．（口演）2021. 1

【第 50 回日本脊椎脊髄病学会】Hybrid

1. 清水睦也(帯広協立病院)、津村敬、伊林克也、佐藤幸宏、小林徹也、妹尾一誠、岡安浩宜、千葉恒*1. 腰椎後方すべりにおける脊柱パラメータ・身体機能の特徴について．（口演）2021. 4

*1:介護老人保健施設ふらの

【第 140 回北海道整形災害外科学会】

1. 久保田永美子、能地仁（大西病院）．破局的思考が人工膝関節全置換術の術後成績に与える影響．（口演）2021. 6

2. 清水睦也（帯広協立病院）、伊林克也、津村敬、佐藤幸宏、松倉圭佑、妹尾一誠、阿部里見、小林徹也、伊藤浩．脊椎矢状面アライメントの変化と下肢冠状面アライメントの変化の関係：22 年の縦断研究．（口演）2021. 6

3. 能地仁（大西病院）、類家拓也．下腿下垂肢位と踵接地肢位で計測した屈曲ギャップ値の比較検討．（口演）2021. 6

4. 梅藤千秋（梅藤整形外科クリニック）．腰椎変性疾患に対する 2 椎間 PLIF の骨癒合率－L3/4/5PLIF と L4/5/SPLIF の比較－．（口演）2021. 6

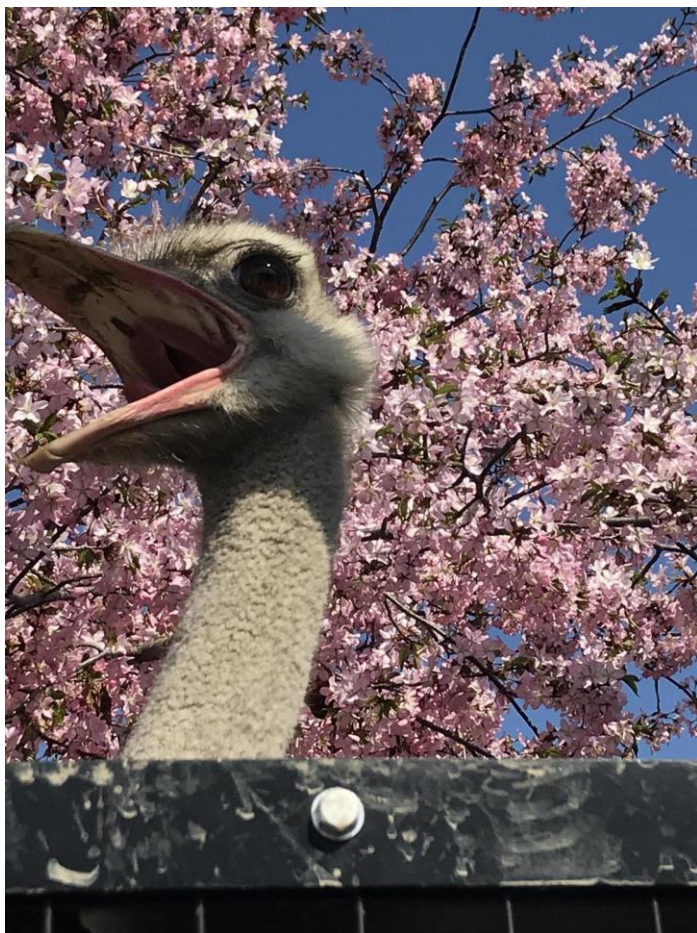
5. 梅藤千秋（梅藤整形外科クリニック）．腰部脊柱管狭窄症を合併した第 5 腰椎蝶形椎体の 1 例．（口演）2021. 6

6. 梅藤千秋（梅藤整形外科クリニック）．骨粗鬆性椎体骨折を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する PLIF における Capstone control cage の有用性．（口演）2021. 6

7. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）．人工膝関節周囲感染のインプラント温存～後方滑膜切除と biofilm 処置の重要性．（口演）2021. 6

8. 山中康裕（市立札幌病院）、中野宏昭、中山 央、奥村潤一郎、伊藤浩．二分脊椎に伴う麻痺性股関節脱臼（弛緩性麻痺）の一例．（口演）2021. 6

9. 吉井孝成、能地仁（大西病院）．人工膝関節全置換術後早期の昇段困難感に関連する身体機能因子の検討．（口演）2021. 6



【国内学会発表】

【JOSKAS/JOSSM meeting 2021】

1. 眞田高起（関東労災病院 スポーツ整形）、村上亮、岩
 増弘志、本田英三郎、吉富洋樹、内田正樹、北村大祐、稲
 川未悠、深井厚、内山英司。第5中足骨疲労骨折治療にお
 ける骨移植の治療成績。（口演）2021. 6

【第51回日本人工関節学会】

1. 浜口英寿（我汝会さっぽろ病院）。人工膝関節における
 屈曲内側ギャップと屈曲角度の関係。（口演）。2021. 7

【第70回東日本整形災害外科学会】

1. 能地仁（大西病院）、類家拓也。FUTURE KNEE の短
 期臨床評価。（口演）2021. 9

【第58回北海道膝関節研究会】

1. 能地仁（大西病院）、類家拓也。股関節固定術後の同
 側膝にTKAを施行した1例。（口演）2021. 9

【第23回日本骨粗鬆症学会】

1. 竹光正和（村山医療センター）、原道代、芳賀あずさ、山
 崎愛実、岩崎優香、吉澤咲樹、荒島未結、猪俣郁希、堀川
 拓海、須藤泉美、谷戸祥之。60歳未満で骨粗鬆症治療を
 開始した患者の受診の契機に関する調査。（口演）。2021.
 10

【第30回日本脊椎インストルメンテーション学会】

1. 梅藤千秋（梅藤整形外科クリニック）。胸腰椎移行部の
 骨粗鬆性椎体圧潰骨折に対する椎体形成術を伴わない後方
 固定術の術後成績。（口演）2021. 10

【第66回北海道脊椎疾患研究会】

1. 梅藤千秋（梅藤整形外科クリニック）。Sub-laminar
 taping は胸腰椎長範囲後方固定術に於ける固定及び隣接
 椎体骨折発生の予防となりうるか？。（口演）2021. 11

【第55回日本側彎症学会】

1. 千葉恒（介護老人福祉施設ふらの）、小林徹也、神保
 静夫、今井充。体幹機能および脊柱骨盤矢状面アライメント
 の縦断変化の検討。（口演）2021. 11



特別研究費 による研究課題

1. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 C.
 GMFCS Level V 脳性麻痺者の研究参画による長期運動介
 入の試み. 寺田恭子*1、鈴木伸治*2、田中綾子*3

*1:桜花大学 *2:常葉大学

*3: びわこリハビリテーション専門職学校

2. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 C.
 下肢筋全体への電気刺激が運動代替となる可能性. 山本武
 （常葉大学）、鈴木伸治、天野徹也、縣信秀

編集後記

旭川医科大学整形外科学教室医局便り・業績集の刊行にあたりまして、ご多忙にもかかわらず多くの先生方より玉稿を賜り、誠にありがとうございました。

2021年度は2020年に引き続いて新型コロナウイルス蔓延により、外出制限や自粛活動など、私たちの生活に大きな影響を与えた年となりました。同門の先生におかれましても、院内での感染対策などに奔走された方も多かった事と思います。例年開催されていた教室主催の数々の研究会、スポーツ大会のほとんどが中止を余儀なくされ、また国内および国際学会への現地参加がほとんどできなくなりました。さらに同門会忘年会も中止となり、同門が一堂に会する機会が失われ、非常に残念に思います。今後はコロナ禍における生活も前向きな変化が起きることを期待し、同門が一堂に会する機会を心待ちにしております。整形外科学教室一門の団結でこのコロナ禍を乗り越えていけるものと思っております。コロナ禍ではありますがオンライン学会での多数の発表や論文発表の報告が業績集に寄せられており、旭川医科大学整形外科学教室が飛躍し続けていることが実感できます。

編集作業を振り返り、同門の先生方からの寄稿文や業績を読ませて頂き、旭川医科大学整形外科学教室の伝統の重みを感じました。旭川医科大学整形外科学教室のさらなる発展に尽力して参りたいと思います。同門の先生方には引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今回医局便り・業績集の編集にあたり不備な点があったにも関わらず、多数の先生方にご協力を賜りましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。また、編集作業を通じて旭川医科大学整形外科学教室の歴史に触れる素晴らしい機会を与えていただきましたことを、この場を借りて深謝致します。末筆ではございますが、同門の先生方の益々のご健康とご発展を心より祈念し、編集後記とさせていただきます。

光武 遼 (2010年卒)
岡安 浩宜 (2013年卒)
今井 充

